

## (参考) 1979年4月26日 感動の入会式

紹介者：蓮見昭一会員

新会員：中村靖治会員

ロータリアン蓮見昭一君、当クラブへの会員候補者とともに前へ来ていただけますか。

中村靖治君、あなたは、当クラブ会員より正会員として選ばれ、よって飲食業の職業分類を代表することになりました。

あなたは、ロータリーの基本原理、責務、義務を理解し、ロータリアンとなる意思があることを表明されました。

ロータリアンとなるには、事業や職業生活において、親善と奉仕の原則の実践に努めんとする意思が必要条件となります。

当クラブの会員は、あなたがこれらの原則をもうすでに実践していると信じるが故に、推薦しました。

会員としてあなたを選んだことは、当クラブがあなたを親睦の輪に迎え入れたということだけではなく、ロータリーの理想を共に実現していく仲間として受け入れたことを意味します。

あなたはこれからロータリアンとして知られ、あなたの行動がロータリーに対する世間の評価に影響することになります。

ロータリー会員であるということは、名誉であり特権でもありますが、どのような特権にもそれに値する義務が伴います。

例会に定期的に出席することは、会員の特別義務のひとつです。

これは、親睦を深めていくための基本的な手段であるだけでなく、自らの職業を代表するひとつの方法でもあります。

クラブおよび社会奉仕活動に参加することが全会員に求められ、クラブの各委員会は、奉仕の機会を提供しています。

残るロータリー年度に、委員会の委員をぜひ務めていただきたいと思えます。

最後に、私たちの親睦の理想についてお話します。

与えるものが多ければ、報いも多いものです。

あなたが親睦から恩恵を受けると同時に、私たちのクラブへの原動力となってくれることを祈っています。

会員の皆さん、ご起立ください。

ロータリー・クラブの会員として、中村靖治氏をここに喜んで迎え入れたいと思えます。

また、世界的な組織を象徴する徽章ピンを付けさせていただきます。

このピンを誇りを持って常に着用していただけることを願っています。

ロータリアンの皆さん、ロータリアン中村靖治氏を温かくお迎えください。

中村氏のロータリーでの経験が楽しく有意義なものとなるよう、皆さんにもご協力いただけることを期待しています。